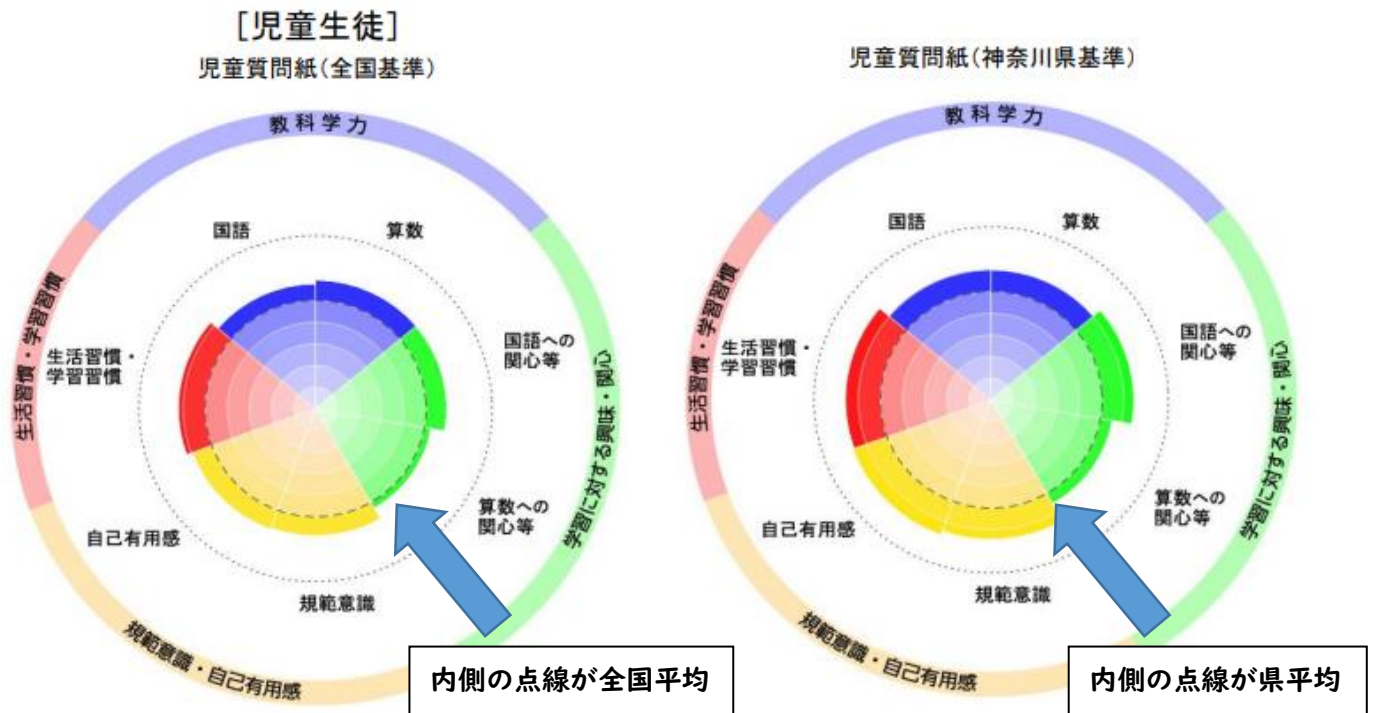


令和5年4月18日に、6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査について、結果をまとめました。この調査結果を踏まえ、子どもたち一人ひとりの学習の様子をつかみ、今後の学習指導や授業改善に役立てていきます。



国語…正答率は全国及び神奈川県の平均を約6%上回っている。

知識及び技能、思考力・判断力・表現力（A 話すこと・聞くこと、B 書くこと、C 読むこと）のすべての項目において、全国・神奈川県の平均正答率を上回っている。特に思考力・判断力・表現力の読むことに関する事項においては、神奈川県や全国の平均正答率を大きく上回っている。一方で、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる問題は、神奈川県・全国平均と同様に本校の正答率も50%を下回った。

国語の指導改善のポイント

○図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する指導の充実

自分の考えが伝わるように書く際には、図表やグラフなどを用いるなどして、書き表し方を工夫することが大切である。図表やグラフなどを用いるのは、示すべきことが、図解したり、表形式やグラフ形式で示したりした方が分かりやすい場合である。そのため、他教科においても理科の観察や実験、社会等の調査の結果などを記述する際には、図表やグラフを用いることで、自分の考えを深めたり、相手にとってよく理解できるものにしたりする指導をしていく。

算数…正答率は全国及び神奈川県を約7%上回っている。

4つの領域「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」すべてにおいて全国・神奈川県を平均正答率を上回っている。特に「データの活用」に関しては、全国・神奈川県を平均正答率を約10%も上回っている。一方で、高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題では、神奈川県・全国平均と同様に本校も正答率が低かった。

算数の指導改善のポイント

○基本図形の面積の公式の理解を深め、活用できるようにする

平面図形の面積に関わる数学的活動を通して、図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くことを指導する。

質問紙調査の結果から

- 国語や算数の勉強を大切だと感じており、将来役に立つ学習であることを理解して学ぶことができている。
- 全国、神奈川県を平均と比べ、毎日朝食をとり、生活リズムが比較的整っているという結果になった。また1日当たりのテレビゲーム、携帯のゲーム等をしている時間についても少なく、家庭学習の時間が長くなっている。
- 自分にはよいところがあると理解し、将来の夢や目標を持っている児童が多い。
- 人の役に立つ人間になりたい、人が困っているときには、進んで助けたいと考えている児童が多い。